

WebSAM Storage ReplicationNavigator  
ControlCommand for Oracle Ver2.2  
インストールガイド

# はじめに

このたびは、弊社製品をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

このインストールガイドでは、WebSAM Storage ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle のインストールに関して説明しています。使用方法に関しては、CD 媒体に含まれる電子マニュアルをご参照ください。


## 備考

1. 本製品は、Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Server 2012 に対応しています。
2. 本文中の以下の記述は、特に明示しない限り、対応する製品名を意味します。

本文中の記述	対応する製品名
ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle	WebSAM Storage ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle
iStorageManager	WebSAM iStorageManager
ControlCommand on Windows	iStorage ControlCommand on Windows
Protection Manager	WebSAM Storage Protection Manager

3. 商標および登録商標
  - Microsoft®, Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  - その他、記載されている製品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。
4. 本文中は、特にご注意ください内容を以下で示しております。内容については必ずお守りください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、システム運用において影響がある場合があります。

表示の種類	
種 類	内 容
	操作において特に注意が必要な内容を説明しています。

# 目 次

<b>第 1 章</b>	<b>導入.....</b>	<b>1</b>
1.1	動作環境.....	1
1.2	インストール・アンインストール.....	4
1.2.1	インストール.....	4
1.2.2	アンインストール.....	5
1.2.3	アップデート.....	6
<b>第 2 章</b>	<b>運用準備.....</b>	<b>7</b>



# 第 1 章 導入

## 1.1 動作環境

下記は、本バージョンの製品の初期出荷時点でサポートする動作環境です。

最新の情報については、PP・サポートサービス(事前の登録が必要)により提供しております。

Windows Server 2003 の動作環境は、以下の通りです。

表 1 ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle の動作環境

ハードウェア	サーバ: Express5800/100 シリーズ、Express5800/1000 シリーズ
OS	Windows Server 2003, Standard Edition (SP1、SP2) Windows Server 2003, Enterprise Edition (SP1、SP2) Windows Server 2003 R2, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition Windows Server 2003 R2, Standard Edition (SP2) Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition (SP2) Windows Server 2003, Enterprise Edition for Itanium-based Systems (SP1、SP2) Windows Server 2003, Standard x64 Edition(SP1、SP2) Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition(SP1、SP2) Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition (SP2) Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition (SP2)
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iStorage 基本制御 (iStorageManager 含む)</li> <li>・DynamicDataReplication Ver2 以降 または RemoteDataReplication Ver2 以降 または DynamicSnapVolume または DynamicSnapVolume Ver3</li> <li>・AccessControl</li> <li>・ControlCommand on Windows</li> <li>・Protection Manager</li> <li>・Oracle9i Database Release 2 Standard Edition</li> <li>・Oracle9i Database Release 2 Enterprise Edition</li> <li>・Oracle Database 10g Release2 Standard Edition</li> <li>・Oracle Database 10g Release2 Enterprise Edition</li> <li>・Oracle Database 11g Release1 Standard Edition</li> <li>・Oracle Database 11g Release1 Enterprise Edition</li> <li>・Oracle Database 11g Release2 Standard Edition</li> <li>・Oracle Database 11g Release2 Enterprise Edition</li> <li>・CLUSTERPRO 7.0 / 8.0</li> <li>・CLUSTERPRO X 1.0 / 2.0 / 2.1 / 3.0 / 3.1 / 3.2 / 3.3</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>•NetBackup 5.1 / 6.0 / 6.5 / 7.0 / 7.1 / 7.5 / 7.6</li> <li>•Backup Exec 11d / 12 / 12.5 / 2010</li> <li>•ARCserver Backup r11.1 / r11.5 / r12 / r15 / r16 / r16.5</li> </ul>
メモリ	Windows Server 2003 OS 必要メモリ+2.40MB 以上
ディスク容量	3.8MB(トレースファイル 含まず)

Windows Server 2008 の動作環境は、以下の通りです。

表 2 ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle の動作環境

ハードウェア	サーバ: Express5800/100 シリーズ、Express5800/1000 シリーズ
OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2008 Standard (x86)</li> <li>Windows Server 2008 Enterprise (x86)</li> <li>Windows Server 2008 Standard (x64)</li> <li>Windows Server 2008 Enterprise (x64)</li> <li>Windows Server 2008 Standard (x86) (SP2)</li> <li>Windows Server 2008 Enterprise (x86) (SP2)</li> <li>Windows Server 2008 Standard (x64) (SP2)</li> <li>Windows Server 2008 Enterprise (x64) (SP2)</li> <li>Windows Server 2008 R2 Standard (x64)</li> <li>Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64)</li> <li>Windows Server 2008 R2 Standard (x64) (SP1)</li> <li>Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64) (SP1)</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>•iStorage 基本制御(iStorageManager 含む)</li> <li>•DynamicDataReplication Ver2 以降</li> <li>または RemoteDataReplication Ver2 以降</li> <li>または DynamicSnapVolume</li> <li>または DynamicSnapVolume Ver3</li> <li>•AccessControl</li> <li>•ControlCommand on Windows</li> <li>•Protection Manager</li> <li>•Oracle Database 10g Release2 Standard Edition</li> <li>•Oracle Database 10g Release2 Enterprise Edition</li> <li>•Oracle Database 11g Release1 Standard Edition</li> <li>•Oracle Database 11g Release1 Enterprise Edition</li> <li>•Oracle Database 11g Release2 Standard Edition</li> <li>•Oracle Database 11g Release2 Enterprise Edition</li> <li>•Oracle Database 12c Release1 Standard Edition</li> <li>•Oracle Database 12c Release1 Enterprise Edition</li> <li>•CLUSTERPRO X 2.0 / 2.1 / 3.0 / 3.1 / 3.2 / 3.3</li> <li>•NetBackup 6.5 / 7.0 / 7.1 / 7.5 / 7.6</li> <li>•Backup Exec 12 / 12.5 / 2010</li> </ul>

	・ARCserve Backup r12 / r15 / r16 / r16.5
メモリ	Windows Server 2008 OS 必要メモリ+2.40MB 以上
ディスク容量	3.8MB(トレースファイル含まず)

Windows Server 2012 の動作環境は、以下の通りです。

表 3 ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle の動作環境

ハードウェア	サーバ: Express5800/100 シリーズ、Express5800/1000 シリーズ
OS	Windows Server 2012 Standard Windows Server 2012 Datacenter Windows Server 2012 R2 Standard Windows Server 2012 R2 Datacenter
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iStorage 基本制御(iStorageManager 含む)</li> <li>・DynamicDataReplication Ver2 以降 または RemoteDataReplication Ver2 以降 または DynamicSnapVolume または DynamicSnapVolume Ver3</li> <li>・AccessControl</li> <li>・ControlCommand on Windows</li> <li>・Protection Manager</li> <li>・Oracle Database 11g Release2 Standard Edition</li> <li>・Oracle Database 11g Release2 Enterprise Edition</li> <li>・Oracle Database 12c Release1 Standard Edition</li> <li>・Oracle Database 12c Release1 Enterprise Edition</li> <li>・CLUSTERPRO X 3.1 / 3.2 / 3.3</li> <li>・NetBackup 7.6</li> <li>・ARCserve Backup r16.5</li> </ul>
メモリ	Windows Server 2012 OS 必要メモリ+2.40MB 以上
ディスク容量	3.8MB(トレースファイル含まず)

## 1.2 インストール・アンインストール

### 1.2.1 インストール

以下の手順にしたがって、ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle をインストールします。

インストールするときは、次のこと確認してください。

- 管理者権限でログインしている。
- すべてのプログラムが終了している。

#### 【ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle のインストール】

1. ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle のインストール用 CD 媒体を CD-ROM ドライブにセットします。

ここでは、CD-ROM ドライブに割り当てられているドライブを「X:」として説明します。

2. Windows の[スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択します。

ファイル名を指定して実行ダイアログボックスが表示されます。

3. 「X:¥SETUP¥SETUP.EXE」と入力して、[OK]ボタンをクリックします。

ようこそダイアログボックスが表示されます。

4. [次へ]ボタンをクリックします。

使用許諾を確認するダイアログボックスが表示されます。

5. [使用許諾契約の全条項に同意します]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

ユーザ情報を入力するダイアログボックスが表示されます。

6. 「ユーザ名」と「会社名」を入力して、[次へ]ボタンをクリックします。

インストール先を確認するダイアログボックスが表示されます。

7. 必要に応じてデフォルトで設定されるインストール先を変更して、[次へ]ボタンをクリックします。

インストール先を変更する場合、ほかの製品のインストール先と同じ場所を指定しないでください。

また、クラスタシステムを構成するサーバでは、同じインストール先を指定してください。

インストールを開始するダイアログボックスが表示されます。

8. [インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。インストールの完了を通知するメッセージが表示されるまでお待ちください。

9. [完了]ボタンをクリックします。

インストールが完了すると、システム環境変数 RNORA\_HOME\_DIR に次のディレクトリが追加されます。

- <ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle のインストールディレクトリ>

ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle を動作させる運用管理ツールなどにシステム環境変数を反映するためには、システムを再起動してください。



## 1.2.2 アンインストール

以下の手順にしたがって、ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle をアンインストールします。

アンインストールするときは、次のこと確認してください。

- 管理者権限でログインしている。
- すべてのプログラムが終了している。

インストール後に運用に作成した定義ファイルを削除する場合は、アンインストール前に iSMrnora\_defdelete コマンドを実行してください。

また、ログファイル、バックアップディレクトリに取得されたバックアップデータはアンインストール後も保存されます。不要な場合は、手作業にて削除する必要があります。

### 【ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle のアンインストール】

1. 運用にて使用したオペレーション定義ファイルが不要な場合は、iSMrnora\_defdelete コマンドを実行して削除してください。  
iSMrnora\_defdelete コマンドを実行します。
2. Windows の[スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。  
コントロールパネルが表示されます。
3. [プログラムの追加と削除]または[プログラムと機能]を開きます。  
[プログラムの追加と削除]または[プログラムと機能]ダイアログボックスが表示されます。
4. [現在インストールされているプログラム]または[プログラムのアンインストールまたは変更]から「ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle」を選択し、[削除]または[アンインストール]ボタンをクリックします。  
削除するかを確認するダイアログボックスが表示されます。
5. [はい]ボタンをクリックします。  
アンインストールが開始されます。アンインストールが完了すると、メンテナンスの完了画面が表示されます。
6. [完了]ボタンをクリックします。

## 1.2.3    **アップデート**

ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle をアップデートする場合は、ソフトウェアのアンインストールを行ってからインストールを行います。手順は「1.2.1 インストール」、「1.2.2 アンインストール」を参照してください。

## 第 2 章 運用準備

ReplicationNavigator ControlCommand for Oracleを使用するために必要な環境設定の流れと、各設定の手順については、「iStorage ソフトウェア ReplicationNavigator ControlCommand for Oracle 利用の手引き」(IS104) の「第 4 章 運用準備」を参照してください。